

新潟県・福島県等における大雨による被害状況等について

※これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。

平成23年7月30日
13時45分現在
内閣府

1. 気象の状況（気象庁情報：7月30日11:00現在）

（1）気象概況

- ・新潟県と福島県では平成16年7月新潟・福島豪雨を上回る記録的な大雨となっているところがある。
- ・前線が朝鮮半島から北陸地方を通過して関東の東に停滞しており、前線に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定になっている。
- ・新潟県と福島県会津では、28日から断続的に1時間に80ミリを超える猛烈な雨が降った。27日12時から30日11時までの総雨量は、福島県只見で679.5ミリ、新潟県加茂市宮寄上で615.5ミリに達しており、新潟県では広い範囲で400ミリを超えている。

（2）大雨の状況（30日速報値 11時現在）

・主な1時間降水量

新潟県	十日町	121.0ミリ	29日20時51分まで
茨城県	門井	97.5ミリ	28日1時46分まで
新潟県	宮寄上	93.5ミリ	29日10時43分まで
新潟県	塩沢	89.5ミリ	30日4時28分まで
新潟県	大湯	70.0ミリ	30日2時52分まで

・主な24時間降水量

福島県	只見	527.0ミリ	30日7時00分まで
新潟県	宮寄上	473.5ミリ	30日9時10分まで
新潟県	塩沢	344.0ミリ	30日7時50分まで
新潟県	入広瀬	273.5ミリ	30日8時50分まで
新潟県	栃尾	273.5ミリ	30日10時40分まで

・主な期間降水量（27日12時以降）

福島県	只見	679.5ミリ
新潟県	宮寄上	615.5ミリ
新潟県	塩沢	562.0ミリ
新潟県	入広瀬	465.0ミリ
新潟県	大湯	430.5ミリ
新潟県	小出	399.5ミリ
新潟県	室谷	379.5ミリ
群馬県	藤原	376.0ミリ
新潟県	十日町	374.5ミリ
新潟県	栃尾	372.0ミリ

（3）今後の見通し

- ・新潟県では、30日夕方にかけて1時間50ミリの非常に激しい雨の降るおそれがあり、福島県でも30日夕方にかけて1時間30ミリから40ミリの激しい雨の降るおそれがある。
- ・31日12時までの24時間に予想される雨量は、いずれも多いところで、新潟県100ミリ、福島県、関東地方北部80ミリ。
- ・土砂災害や洪水の危険性が高まっており、土砂災害、河川の増水やはん濫、低地の浸水に厳重に警戒。特に新潟県では最大限の警戒が必要。

2. 人的・住家被害の状況（消防庁調べ：7月30日 13:00現在）

都道府県名	人的被害				住家被害					非住家被害	
	死者	行方不明者	負傷者		全壊	半壊	一部破損	床上浸水	床下浸水	公共建物	その他
			重傷	軽傷							
人	人	人	人	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	
福島県		1			1			2	34	1	11
新潟県	1	3		2	2	1	1	95	537		97
合計	1	4	0	2	3	1	1	97	571	1	108

※新潟県南魚沼市で建物の床上浸水30棟、床下浸水217棟の被害情報があるが、住家・非住家の区分が不明のため、住家及び非住家の被害に計上していない。

※新潟県三条市内で多数の建物浸水が発生している模様。（詳細確認中）

【主な人的被害】

<死亡>

新潟県：十日町市で67歳男性が中沢川に車両ごと転落し、30日朝に発見され死亡を確認。

<行方不明>

福島県：只見町において土嚢を積む作業をしていた作業員（63歳男性）が川に流され行方不明となる。

新潟県：十日町市で93歳女性が川に流され行方不明となる。

小千谷市で60歳代男性が川に転落し行方不明となる。

田上町で64歳男性が田んぼの様子を見に行つたまま行方不明となる。

※三条市でも行方不明者の情報が入っているが詳細確認中のため計上はしていない。

【孤立状況】

福島県：南会津町の国道401号線が道路寸断により40人孤立

南会津町の国道352号線道路寸断により4人孤立

→ 南会津町の孤立事案については、全員救助完了

金山町大塩地区西部、田沢地区、湯倉地区及び本名地区において計90人が孤立

只見町の8か所において計343人の孤立 → 自衛隊へ救助要請

檜枝岐村に向かう道路寸断により全村孤立（現在のところ緊急性がないため救助の必要なしとのこと）

3. 避難の状況（消防庁調べ：7月30日 13:00現在）

（1）避難指示

都道府県名	市町村名	対象世帯数	対象人数	指示日時	解除日時
福島県	三島町	6	23		
	柳津町	調査中	201		
	南会津町	調査中	58		
合計		6	282		

（2）避難勧告

都道府県名	市町村名	対象世帯数	対象人数	発令日時	解除日時
福島県	西会津町	6	14	調査中	
	会津坂下町	95	327	調査中	
	三島町	2	5	調査中	
	金山町	369	861	調査中	
	南会津町	調査中	50	調査中	
	只見町	調査中	371	調査中	
合計		472	1,628		

（3）自主避難

都道府県名	市町村名	世帯数	人数	備考
福島県	喜多方市	1	1	
	南会津町	調査中	19	
	柳津町	37	123	
	西会津町	8	16	
	金山町	95	223	
	三島町	3	6	
小計		143	387	

新潟県内において137, 408世帯413, 708人に対し避難指示、避難勧告及び避難準備情報発令中

4. その他被害の状況

(1) 土砂災害

○土砂災害（国土交通省調べ：7月30日 11:00現在）

・2県の12市町村で22件の土砂災害を確認

都道府県名	土石流等	地すべり	がけ崩れ	市町村数	市町村名
新潟県	6	2	7	7	魚沼市、南魚沼市、十日町市、阿賀町、新潟市、長岡市、柏崎市
福島県	3	1	3	5	三島町、会津若松市、柳津町、北塩原村、只見町
計	9	3	10	12	

○土砂災害警戒情報の発表状況（国土交通省調べ：7月30日 11:00現在）

・7月28日から同30日までに土砂災害警戒情報が発表された市町村 10県97市町村（地域）

(2) 河川（国土交通省調べ：7月30日 11:00現在）

○出水状況（国管理河川）

- ・現在、計画高水位を超えている河川 1水系 1河川
- ・現在、はん濫危険水位を超えている河川 1水系 1河川
- ・現在、避難判断水位を超えている河川 1水系 1河川
- ・計画高水位を超えたが、現在下回った河川 1水系 1河川
- ・はん濫危険水位を超えたが、現在下回った河川 無し
- ・避難判断水位を超えたが、現在下回った河川 1水系 1河川

(3) 道路（国土交通省調べ：7月30日 11:00現在）

・通行止め区間・事前通行規制

	最大値 (時点)	現在値	備考
高速道路	3 (7/30 7:00)	2	いずれも事前通行規制
直轄国道	4 (7/30 7:00)	3	いずれも通行止め
県管理国道	28 (7/30 11:00)	28	いずれも通行止め
都道府県道	86 (7/30 11:00)	86	いずれも通行止め

(4) 交通機関

○鉄道（国土交通省調べ：7月30日 7:00現在）

・運転中止区間

事業者名	線名	運転休止区間	運転休止		主な被害状況等
			日	時刻	
JR 東日本	羽越線	新津駅～新発田駅	29	5:56	
	米坂線	今泉駅～坂町駅	29	6:02	
	磐越西線	喜多方駅～新津駅	29	始発	
	只見線	会津坂下駅～小出駅	29	5:31	会津坂本駅～会津柳津駅間 路盤流出
	信越線	直江津駅～新潟駅	30	始発	
	越後線	全線	30	始発	
	弥彦線	全線	29	10:51	
	信越線	長岡駅～新津駅	29	9:30	
	上越線	水上駅～宮内駅	29	始発	
	飯山線	戸狩野沢温泉駅～越後川口駅	30	始発	

(5) ライフライン関係

○電力

・東北電力（7月30日12時現在）（延べ 約2万9千戸）

停電戸数：約9,100戸

○都市ガス

・現在のところ、被害情報なし。

(6) その他

・港湾施設 被害情報なし（国土交通省調べ：7月30日11:00現在）

・航空施設 被害情報なし（国土交通省調べ：7月30日11:00現在）

・下水道施設 新潟県十日町市で1件発生（国土交通省調べ：7月30日11:00現在）

5. 政府の主な対応

(1) 災害応急体制の整備

・官邸情報連絡室設置（7月29日9:15）

(2) 災害救助法の適用

○災害救助法の適用

・新潟県は新潟市、三条市、柏崎市、小千谷市、加茂市、十日町市、五泉市、魚沼市、南魚沼市、南蒲原郡田上町及び東蒲原郡阿賀町に災害救助法を適用（適用日：7月29日）

(3) 自衛隊の災害派遣

〔派遣規模〕 人員 延べ約380名

車両 延べ約120両

○新潟県

・7月29日 新潟県知事から災害派遣要請(16:09)

三条市において土のう積み、魚沼市において給水支援を実施

〔派遣規模〕 人員 延べ約220名

車両 延べ約60両

○福島県

- ・7月29日 福島県知事から災害派遣要請(18:00)
只見町において行方不明者の捜索・救助を実施
- 〔派遣規模〕 人員 延べ約160名
車両 延べ約60両

(4) 各府省庁の対応

①内閣府の対応

- ・情報連絡室設置(7月28日9:30)
- ・情報対策室へ改組(7月30日9:00)

②警察庁の対応

- ・災害情報連絡室設置(7月29日21:15)

③消防庁の対応

- ・情報収集体制強化(7月29日18:30)
- ・災害対策室設置(消防庁第1次応急体制)(7月29日22:00)
- ・災害対策本部設置(消防庁第2次応急体制)(7月30日7:00)

④海上保安庁の対応

- ・新潟市信濃川下流に係留中のヨット1隻(2名乗船)が流され、巡視艇が救助に向かったが、当該ヨットは自力で対岸に流れ着き、船体及び乗員に異常のないことを確認。
- ・阿賀野川河口海域において巡視船艇、航空機により漂流船等の調査を実施中。

【対応勢力】

巡視船艇2隻、航空機1機

⑤国土交通省の対応

- ・国土交通本省警戒体制(7月28日8:40)
- ・排水ポンプ車15台、照明車17台を派遣(7月30日時点)
- ・災害対策用ヘリコプター1機により被害状況調査を実施(7月30日12:00時点)
- ・緊急災害対策派遣隊(TEC-FORCE)延べ5人、災害情報連絡担当官延べ5人を派遣(7月30日時点)

⑥国土地理院の対応

- ・注意体制(7月29日21:20)

⑦気象庁の対応

- ・気象庁本庁警戒体制(7月28日20:00)
- ・関係機関に対する気象解説及び災害時気象支援資料の提供を各地気象台より適宜実施